

精神神経学雑誌第 126 巻総目次

第 126 巻 第 1 号 2024 年 1 月

巻頭言	「地域」について考えてみた	相澤 明憲	1
精神医学の フロンティア	脳外科患者における術後せん妄の有無とゲノム網羅的 DNA メチル化プロファイル	山梨 豪彦, 篠崎 元	3
総説	医学研究における利益相反 (COI) の管理	飯田 香緒里	12
原著	COVID-19 流行による精神科受診患者の自殺関連事象の変化について —北海道大学病院における後方視的研究—	内藤 大, 豊田 直人, 三井 信幸	20
特集	日常臨床における精神療法的アプローチ— 時間的制約のなかで何ができるのか— 時間の区切れのなかに精神療法的関係性の本質を潜ませる	新宮 一成	30
	精神科外来で社会生活スキルトレーニング (SST) の考え方や技法を利用した試み	高橋 恵	37
	悪循環を打破する逆説的介入	新村 秀人	43
	時間的制約のなかで何ができるのか— 精神分析的観点から—	吾妻 壮	50
学会誌への 手紙	王立オーストラリア・ニュージーランド精神医学会総会に参加して	福井 英理子, 青木 宣篤	57
	危機下におけるメンタルヘルス: COVID-19 と災害精神医療 —アメリカ精神医学会 2023 年度年次総会に参加して—	高松 直岐	59
地方会報告	第 70 回山陰精神神経学会		61
PCN だより	PCN Volume 77, Issue 8 の紹介		65
書評			68
学会活動報告	学会活動日誌 (2023 年 11 月)		69
学会だより	訃報		73
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト		74

第 126 巻 第 2 号 2024 年 2 月

巻頭言	その抄録と発表原稿, きちんと書かれていますか? —第 120 回学術総会を控えて—	河西 千秋	77
総説	オープンダイアログの実装とその展望	斎藤 環	79
症例報告	システムズアプローチの活用による施設を越えた多職種チームの協働 —くり返す自殺企図にケース会議が変化をもたらした 1 例—	浅野 久木, 丸山 文夫	90
資料	新型コロナウイルス感染症流行下における精神科救急医療施設の対応状況 —精神科救急入院料算定施設を対象とする調査—	花岡 晋平, 中西 健太, 畠山 洋輔, 石川 敬子, 阿部 貴之, 深見 悟郎, 林 偉明, 平田 豊明	97
特集	抗体介在性自己免疫性脳炎と精神医学 認知症・てんかんを主徴とする自己免疫性脳炎— 抗体診断と意義—	田中 恵子	106
	自己免疫性精神病—岡山大学病院における知見を含めて—		114
	……高木 学, 岡久 祐子, 酒本 真次, 樋之津 健二, 河合 弘樹, 来住 由樹, 山田 了士		
	自己抗体介在性の精神疾患研究の歩み—自己免疫性脳炎から自己免疫性精神病—		126
	……千葉 悠平, 阿部 紀絵, 服部 早紀, 伊倉 崇浩, 斎藤 知之, 勝瀬 大海, 須田 顕, 藤城 弘樹, 高橋 幸利, 西野 精治, 菱本 明豊		
	精神科領域における自己免疫性脳炎		134
	……筒井 幸, 大森 佑貴, 神林 崇, 加藤 倫紀, 嵯峨 佑史, 三島 和夫, 清水 徹男, 加藤 征夫, 田中 恵子		

学会誌への 手紙	精神神経分野における若手団体の発展と未来 ——JSPN 総会・若手シンポジウムからのメッセージ—— ……………曾根 大地, 安藝 森央, 大矢 希, 黒田 直生人, 平山 貴敏, 堀之内 徹	143
地方会報告 PCN だより 書評	第 132 回近畿精神神経学会……………	145
	PCN Volume 77, Issue 9 の紹介……………	157
	……………	161
学会活動報告 編集だより	学会活動日誌 (2023 年 12 月)……………	162
	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト……………	167

第 126 巻 第 3 号 2024 年 3 月

巻頭言	Psychiatry and Clinical Neurosciences (PCN) の役割……………加藤 忠史	169
精神医学の フロンティア	さまざまな精神疾患における中脳辺縁系回路の特徴的变化 ……………中村 優子, 石田 卓也, 小池 進介	171
症例報告	右片側性電気けいれん療法においてパルス幅延長による発作増強が有効であった 1 例 ——発作誘発が著しく困難な症例の治療経験—— ……………菅原 聡真, 川島 啓嗣, 藤原 広臨, 村井 俊哉, 諏訪 太郎	177
特集	摂食障害を外来で効果的に治療する 摂食障害の治療における外来治療の意義と当事者と共に実践する治療のあり方…西園マーハ 文 身体合併症の治療と精神面の治療のバランス ——摂食障害支援ネットワーク活動の目的とその内容——……………河合 啓介, 山本 ゆりえ 外来診療における食生活管理——スマートフォン用アプリを介して—— ……………山内 常生, 原田 朋子, 宮本 沙緒里 摂食障害治療を日常生活から支援する——「生きる」と「生きる」こと——……………武田 綾 児童・思春期における摂食障害の外来治療：効果的な治療とは？ ——地域医療機関および教育との連携を中心に—— ……………作田 亮一, 北島 翼, 松島 奈穂, 井上 建, 大谷 良子	186 195 202 210 218
地方会報告 PCN だより 書評	東京精神医学会第 128 回学術集会……………	225
	PCN Volume 77, Issue 10 の紹介……………	231
	……………	235
学会活動報告 編集だより	学会活動日誌 (2024 年 1 月)……………	236
	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト……………	239

第 126 巻 第 4 号 2024 年 4 月

巻頭言	群盲象を語る……………田口 真源	241
精神医学の フロンティア	双極性障害患者における睡眠と気分エピソードとの関連 ……………江崎 悠一, 大林 賢史, 佐伯 圭吾, 藤田 潔, 岩田 伸生, 北島 剛司	243
資料	当事者・家族が精神医学の研究に望むこと——アンケート調査の結果から—— ……………中村 由嘉子, 木野内 南, 尾崎 紀夫	251
特集	アタッチメントとトラウマの混在病理にどう介入するか？ 乳幼児の愛着の評価と養育者支援……………青木 豊 発達性トラウマ障害の背景と理解……………小平 雅基 TF-CBT の実践によるアタッチメントとトラウマの回復……………亀岡 智美	263 272 280
PCN だより 書評	PCN Volume 77, Issue 11 の紹介……………	287
	……………	292
学会活動報告 編集だより	学会活動日誌 (2024 年 2 月)……………	293
	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト……………	297

第 126 卷 第 5 号 2024 年 5 月

巻頭言	外来精神医学についての展望	寺田 浩	299
精神医学の フロンティア 特集	アルツハイマー型認知症患者の言語パターン：機械学習によるアプローチ		301
	日本におけるハームリダクション —— アディクション概念の広がりと啓発・予防・治療への応用 ——		
	ハームリダクションの広がりについて——物質使用障害治療への応用——	齋藤 利和, 宮田 久嗣, 高野 歩	309
	ハームリダクションをベースにした治療	湯本 洋介	316
	ゲーム障害に悩む方々を対象としたハームリダクションアプローチ		321
	——当事者・家族へのかかわりから学んだ啓発活動——	白坂 知彦, 常田 深雪	
	ハームリダクションに学ぶ治療関係の構築について	成瀬 暢也	328
学術総会報告	第 119 回日本精神神経学会学術総会		336
	第 119 回横浜総会を終えて	伊豫 雅臣	
地方会報告	東京精神医学会第 129 回学術集会		338
PCN だより	PCN Volume 77, Issue 12 の紹介		345
書評			349
学会活動報告	学会活動日誌 (2024 年 3 月)		350
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト		354

第 126 卷 第 6 号 2024 年 6 月

巻頭言	能登半島地震発災を受けて思うこと	富田 博秋	357
精神医学の フロンティア	眼球運動と認知機能を用いた統合失調症患者と健常者の臨床診断による判別		359
	岡崎 康輔, 三浦 健一郎, 松本 純弥, 長谷川 尚美, 藤本 美智子, 山森 英長, 安田 由華, 牧之段 学, 橋本 亮太		
資料 特集	山梨県立北病院における非同意治療の実態	三澤 史斉, 藤井 康男, 宮田 量治	366
	総合病院で遭遇する精神科・精神医療に対するスティグマをどう解決したらいいか —— 長期的観点から ——		
	ピアサポートとリカバリー	田中 悟郎	377
	精神疾患に対するスティグマへのアクセプタンス&コミットメント・セラピーによる 介入の取り組み	津田 菜摘	384
	医療スタッフにおける精神疾患に関するスティグマのメタ解析のミニレビュー —— 精神科以外のスタッフに焦点を当てて ——	山口 創生, 岩永 麻衣	391
	周産期メンタルヘルス支援におけるスティグマを考える	松長 麻美	399
地方会報告	第 77 回東北精神神経学会		407
PCN だより	PCN Volume 78, Issue 1 の紹介		414
書評			420
学会活動報告	学会活動日誌 (2024 年 4 月)		421
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト		424

第 126 卷 第 7 号 2024 年 7 月

巻頭言	エビデンス-プラクティスギャップの克服に向けて	古郡 規雄	427
総説	着床前遺伝学的検査 (PGT) をめぐる精神医学領域の倫理的課題		429
	新村 秀人, 石黒 浩毅, 石川 博康, 稲生 宏泰, 佐々木 愛子, 尾崎 紀夫		

特集	認知症と他の精神疾患との鑑別診断のポイント	
	認知症と他の精神疾患との鑑別診断のポイント：概論	三村 将 442
	老年期にみられる幻覚妄想の特徴と認知症との関係	鐘本 英輝, 池田 学 448
	認知症と気分障害との関連・鑑別	馬場 元 455
	認知症診療における神経発達障害の鑑別の意義と課題	上村 直人, 永野 志歩 461
地方会報告	第 63 回中国・四国精神神経学会	468
PCN だより	PCN Volume 78, Issue 2 の紹介	485
書評		490
学会活動報告	学会活動日誌 (2024 年 5 月)	491
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト	494

第 126 巻 第 8 号 2024 年 8 月

巻頭言	第 121 回学術総会について考える——これからの精神科医に求めること——	上野 修一 497
総説	精神障害の社会モデルと治療・支援への提言	池淵 恵美 499
資料	ベンゾジアゼピン受容体作動薬関連障害の類型化と大量使用からの減量法の検討	510
	宇佐美 貴士, 村上 真紀, 松本 俊彦	
特集	今, 再び支持的精神療法を——不安症, 物質使用症, 摂食障害, 心的外傷を治療する——	
	包括的な介入法としての支持的精神療法	521
	——特化された精神療法の技法や治療的工夫の組み入れ——	山下 達久, 宮岡 等 526
	不安に対する支持的精神療法・動機づけ面接とは?	
	——ランダム化比較試験におけるプラセボ反応から——	原井 宏明 533
	物質使用症臨床における支持的精神療法——心的外傷後ストレス症併存使用例に対する	
	harm reduction psychotherapy の実践——	松本 俊彦 540
	不知の姿勢, 共同探索による支持という精神療法	
	——認識的信頼とメンタライジングを促進するアプローチ——	崔 炯仁 548
	摂食障害への支持的精神療法	永田 利彦 548
地方会報告	第 182 回東海精神神経学会	555
PCN だより	PCN Volume 78, Issue 3 の紹介	564
書評		569
学会活動報告	学会活動日誌 (2024 年 6 月)	570
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト	572

第 126 巻 第 9 号 2024 年 9 月

巻頭言	認知症医療に果たす老年精神科医の役割	池田 学 575
総説	「精神神経医学」を再考する——精神医学と神経医学のボーダーランド——	577
	曾根 大地, 品川 俊一郎, 藤盛 寿一, 高尾 昌樹, 兼本 浩祐	
資料	治療抵抗性うつ病に対する rTMS 保険診療の実施状況調査からみえてきた	589
	適切な普及にとっての問題点と今後取り組むべき課題	
	高橋 隼, 松田 勇紀, 鬼頭 伸輔, 中村 元昭, 伊津野 拓司, 野田 賀大	
特集	精神科診療における Precision について	
	精神科診療における precision について	齋藤 正範 599
	個別化治療と認知行動療法的概念化	大野 裕 606
	難治性精神疾患のプレジジョン・メディシン	中島 振一郎 612
会長講演	第 119 回日本精神神経学会学術総会	622
	応機展開の精神医学とその底流——目の前の患者さんに最善の医療を提供し,	
	将来さらに良い医療が提供できるように努力する——	伊豫 雅臣

地方会報告	第 144 回北海道精神神経学会	630
PCN だより	PCN Volume 78, Issue 4 の紹介	634
書評		637
学会活動報告	学会活動日誌 (2024 年 7 月)	638
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト	641

第 126 巻 第 10 号 2024 年 10 月

巻頭言	精神医学研究の在り方：当事者・家族の思いを踏まえて	尾崎 紀夫	643
総説	刑事精神鑑定——裁判員制度施行後の動向も踏まえて——	五十嵐 禎人	645
討論	生物学的基盤を有する重篤だが回復可能な精神疾患としての摂食障害（摂食症）、神経性やせ症	永田 利彦, 西園マーハ 文, 中里 道子, 中尾 智博 三井 信幸, 山田 恒, 竹林 淳和, 水野 雅文	655
特集	一般診療に活かす各種精神療法——学派を超えた通院精神療法の在り方——		
	認知行動療法を一般診療に活かす	中尾 智博	664
	森田療法に立脚した「通院精神療法」——初診から終結までの診療のポイント——	中村 敬	671
	精神分析と精神科外来診療	池田 暁史	678
	学派を超えた精神療法のエッセンスについて考えてみよう	原田 誠一	685
先達に聴く	第 119 回日本精神神経学会学術総会		693
	児童精神科臨床の展望——初期研修段階での経験とその後の児童精神科医としての歩みから——	齊藤 万比古	
PCN だより	PCN Volume 78, Issue 5 の紹介		702
書評			707
学会活動報告	学会活動日誌 (2024 年 8 月)		708
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト		711

第 126 巻 第 11 号 2024 年 11 月

巻頭言	音楽のこと	川崎 弘詔	713
症例報告	ナラティブ・エクスポージャー・セラピー（NET）による虐待サバイバーの PTSD 治療報告		715
	——複雑性 PTSD との対比からの考察——	道免 逸子, 出口 靖之	
特集	次世代の精神医学研究のあり方——知の統合による課題解決に向けて——		
	精神疾患におけるシナプス病理の因果関係をマルチスケールに解明する	林（高木） 朗子	724
	医療 AI が可能にする次世代の精神医療		731
	——AI がひらく次世代の精神医療——	荒牧 英治, 工藤 紀子	
	看護の立場から次世代精神医学研究への期待	野末 聖香	737
	神経科学と科学技術ガバナンス	標葉 隆馬	742
	次世代の精神医学研究に対して, 当事者・家族が望むこと	夏莉 郁子	748
地方会報告	第 133 回近畿精神神経学会		756
PCN だより	PCN Volume 78, Issue 6 の紹介		770
書評			773
学会活動報告	学会活動日誌 (2024 年 9 月)		775
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト		778

第 126 巻 第 12 号 2024 年 12 月

巻頭言	老いる世界	木下 利彦	781
-----	-------	-------	-----

総説	わが国における矯正精神医療の現状と課題	奥村 雄介	783
症例報告	ロラゼパムが奏効した肺血栓塞栓症を伴った悪性緊張病の1例		791
	……………安本 真衣, 奥田 丈士, 宮岸 良彰, 廣澤 徹, 菊知 充		
特集	電気けいれん療法 (Electroconvulsive therapy : ECT) の新たな局面		
	ECTの麻酔管理の変遷——最新の麻酔管理を中心に——	奥村 正紀	799
	ECT施行時に筋弛緩薬をスキサメトニウムから		806
	ロクロニウムに変更した際の麻酔管理	鈴木 孝浩	
	深部静脈血栓症に対する経口抗凝固療法施行中の電気けいれん療法		812
	——自施設での8例の経験症例を踏まえて——	平田 卓志	
	COVID-19が精神科病院でのECTにもたらしたもの	鮫島 達夫, 中村 満	819
地方会報告	東京精神医学会第130回学術集会		826
PCN だより	PCN Volume 78, Issue 7の紹介		833
書評	……………		837
学会活動報告	学会活動日誌 (2024年10月)		838
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト		842